

林地未利用材の利用促進に向けた取組

【取組の背景・目的】

平成22年度石狩管内における一般民有林の施業実績から推定すると、約1万m³の林地未利用材が発生しています(表-1)。

○林地未利用材の利用促進は、当森林室普及課における重要な普及指導課題の一つとして位置づけています。

これまでの取組内容について紹介します。

表-1 平成22年度の石狩管内林地未利用材発生量の推計

樹種	伐採材積 (百m ³)		発生率 (%)	林地未利用材発生量		
				材積 (百m ³)	乾燥重量 (百t)	生重量 (百t)
針葉樹	主伐	75	24	18	9	15
	間伐	190	40	76	38	63
広葉樹		33	35	12	6	10
計		298		106	53	88

*乾燥重量は木材比重を0.5として、生重量は湿潤含水率を40%として算出

【平成23年度の取組内容】

■木質バイオマスセミナー

- ・開催場所：当別町
- ・内容：林地未利用材についての知識と情報の共有を図るため、講演・事例報告・意見交換会を実施。

■森林管理推進協議会による森林整備の推進

- ・開催場所：石狩市
- ・内容：森林施業集約化による林地未利用材の有効利用を推進するため、説明会を実施。

■林地未利用材の効率的な集荷システムの検討

- ・開催場所：石狩市、千歳市
- ・内容：皆伐等施行地から発生した林地未利用材の集荷システム実証試験実施。

【平成24年度の取組内容】

■市町村森林整備計画実行管理推進チーム会議で林地未利用材の有効利用の検討

- ・開催場所：石狩管内
- ・内容：平成23年度の取組内容など、林地未利用材の有効利用について、知識・情報の共有と取組に向けた検討会の実施。

【取組の成果】

○林地未利用材の利用促進に関する様々な普及指導活動の取組を実施したことで、地域関係者との情報共有が図られました。



- ・石狩地域における木質バイオマスのエネルギー利用に関する需給状況及び課題等について、地域関係者との情報共有が図られました。
- ・施業集約化の推進により、木材の安定した供給体制が構築され、まとまった林地未利用材の供給が可能となりました。
- ・地域関係者の連携による、効率的な集荷システムに向けた取組の必要性について認識が共有されました。

【今後の取組】

○林地未利用材の利用促進に向けて、今後も地域関係者と一体となった普及指導活動を展開していきます。

- ・施業の集約化を更に推進し、未整備森林の解消並びに林地未利用材の利用促進を図ります。
- ・林地未利用材の有効利用と安定供給に向けて、林地未利用材の発生状況の把握及び情報発信と共に関係者間のコーディネートを行うなどの取組を進めます。



木質バイオマスセミナー



集荷システム実証試験



市町村森林整備計画実行管理推進チーム会議
(石狩振興局森林室普及課)